

令和9年4月に小学校に入学されるお子様の保護者の皆様へ

麻しん・風しん混合ワクチン

第2期

MRワクチンの予防接種

令和9年3月31日まで無料



MRワクチンは、麻しん（はしか）と風しんのワクチンです。

麻しんは、感染力が非常に強く、重症化すると肺炎や脳炎を合併し、1000人に1人が死亡するとされています。風しんも、感染力が強く、まれに脳炎や血小板減少性紫斑病を合併症することがあります。

予防にはワクチン接種が有効であり、MRワクチンを2回接種することで、95%以上の方が免疫を獲得できるとされています。小学校入学の前年度が、2回目（第2期）の定期接種の対象期間であり、令和9年3月31日まで無料で受けることができますので、ぜひこの機会に接種をご検討ください。

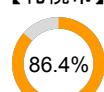
※令和9年4月以降は、任意接種となり、接種費用として1万円程度かかります。

知っていますか？

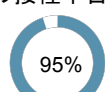
MRワクチン第2期の接種率

【札幌市】

【国の接種率目標】



※接種率は令和7年度実績



実は札幌市の接種率、結構低いのです…。

だから



予防には2回の接種が重要です！

接種のために必要な情報を紹介します。



対象者

令和2年（2020年）4月2日～

令和3年（2021年）4月1日生まれの方

※令和9年（2027年）4月に小学校に入学予定の方



対象期間・接種回数

令和9年（2027年）3月31日までに1回接種



対象ワクチン

麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）



持っていくもの

以下①及び②をご持参ください。

①氏名・年齢・住所を確認できるもの
（マイナンバーカード、資格確認書など）

②母子健康手帳（過去の接種歴確認のため、
忘れずにお持ちください）

※予診票は、市内の指定医療機関や各区保健センターでお渡ししています。



接種料金

無料（市内の指定医療機関で接種する場合に
限ります）



副反応・補償制度

発熱や発疹のほか接種部位の赤みなどが見られることがあります。また、まれにアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病などが生じる可能性があります。

なお、予防接種の副反応により、医療機関での治療が必要になるなど、健康被害が生じた場合、申請し認定されると補償が受けられます。詳しくは接種した医療機関や保健所へ。



実施医療機関

札幌市ホームページで子どもの予防接種を実施している指定医療機関を公開しています。

※予約が必要な場合がありますので、あらかじめ電話などでお問い合わせください。

子どもの予防接種実施医療機関名簿



左の二次元コードを読み込む

もしくは

札幌市 子どもの予防接種 名簿



小学校の入学準備で忙しくなる前に！
接種忘れがないよう、『早めの予約』
をおすすめします。